

2020

ノウフク
アワードNOUFUKU AWARD
2020

審査員特別賞

Special Jury Prize

特定非営利活動法人 香川県社会就労センター協議会 (香川県高松市)

受賞理由 農家と施設をマッチング

農業の施設外就労の共同受注窓口として、農家と福祉事業所のマッチングを行っており、その取り組みモデルは全県的に拡大しています。



概要 ノウフクを県内全域に広げ、その窓口となる

2008年頃、香川県のB型事業所の平均工賃が全国的にみて安く、農業者の高齢化が進み、同県の農産物の生産量を維持・拡大することは困難でした。そこで、県とJAが共同で試行し、障害者がにんにくの農作業で活躍できることがわかりました。その取り組みは、瞬く間に県内全域に広ま

りました。2011年に協議会は、農業の施設外就労の共同受注窓口となり、作業依頼から工賃支払いまでをフォローしています。参加する経営体は、農家のべ258件、施設数のべ269件に拡大しています。さらなる増加と工賃の増額を目指します。



成果 収益と工賃の向上を両立

<農林水産業>

- ・作業単価の2度の値上がりにも関わらず、福祉施設がにんにくの農作業を最優先で協力するため、農家から好感を得ています。
- ・2019年度から県に「農福連携技術支援者(農業版ジョブコーチ)制度」が誕生し、参加施設への支援活動を始めました。

<障害者等>

- ・新しい参加施設も増えてきたため、マニュアルを活用したり、新しい作業にも取り組んだりしています。
- ・農業収益と工賃が上がっています。

<地域>

- ・通年で作業依頼に応えることができ、施設は安定した支援ができ、地域貢献につながっています。

ノウフク